

ひまわりの声

題字は高森政雄区連会会長

編集・発行 港南区連合町内会長連絡協議会

ご近所付き合いが 災害時“共助”の原点

区民の皆様には、日頃から「区連会」の活動に御支援御協力を賜り、ありがとうございます。

この秋以降、各地域での防災訓練が活発に行われています。毎年「9月1日防災の日」には、九都県市主催の大規模な防災訓練の様子がメディア等で報じられますが、実際に都心部に大震災が発生したことを想定すると、すべての地域で訓練同様の対応が出来るとは、とても考えられません。



私達は「自助・共助・公助」というモットーを十分に承知しています。

まず、第一に大切なのは“自助”。事前にあらゆる減災対策を講じて、自分や家族の身の安全「命」を守ることが最も重要です。また、公助は、大震災発生直後から3～4日の期間は成立しないことも覚悟し、自らその間を生き延びるための食糧等の準備が必要です。

そして、“自助～公助”の間をつなぐ“共助”を担うのが、自治会町内会や地域防災拠点をはじめとする地域の力です。その際に「自分自身の存在を地域の皆さんに知ってもらおう」こと。“お互いに助けたり、助けられたり…”という関係を成立するために、常日頃からご近所付き合いのような相互に顔見知りの関係を築いていることが大切なのです。

港南区連合町内会長連絡協議会会長 高森政雄

ひまわりの声10号に寄せて

大貫一幸 港南区長

ひまわりの声第10号の発刊、おめでとうございます。

今号は防災特集ということですが、昨年の大震災を教訓に、今年度の各地域防災拠点訓練の参加者は大幅に増え、訓練内容もより実践的に行っていただいています。また、区連会の御協力のもと、174すべての自治会町内会での防災訓練実施を呼びかけています。

今、再認識されている、顔と顔が見える関係の大切さ。私も地域のイベントや会合にお呼び頂き、お邪魔する機会が多くありますが、その度に、地域の輪（和）の更なる広がりを肌で感じています。

地域活動の基盤を担う、自治会町内会、地区連合町内会の活動の更なる発展を祈念しております。



ロイヤルヒルズ上大岡自治会

富士山も望める抜群の眺望のマンション、ロイヤルヒルズ上大岡自治会（約220戸、永谷連合町内会）で、主として火災対応を中心とする防災・減災訓練が実施されました



安否確認ステッカーを活用

訓練の冒頭、寺井正弘自治会長が、参加者の約40人に対してあいさつ。今回の訓練で初めての取り組みとなる、「安否確認ステッカー（両面マグネット式）」による住民安否確認システムについて説明がありました。

この安否確認ステッカーは、通常は自宅玄関のドアの内側に貼り、災害発生時に各戸の住人が、それぞれに無事であることを自治会役員や隣人に知らせるため、ドアの外側に掲示するものです。“大混乱”の中走り回る自治会担当者の二重手間、三重手間を避けるためにも有効な手段で、安全確認のためです。

続いて、消防署職員により、消火器の特質やその具体的操作方法の説明があり、参加者全員が実際に消火器（訓練用で中身は水）を操作しました。



猛煙からも無事脱出

次に、火災のため「一寸先も見えないほど」に煙が充満してしまった状況を想定した部屋からの、脱出訓練が実施されました。

消防署員が、煙の拡散速度、上昇速度を解説。「たとえ猛煙の中であっても、出来る限り姿勢を低くすることにより、呼吸もある程度可能となり、ある程度の視界も確保できる」とのこと。その後、参加者全員が、順次猛煙（訓練用の煙）が充満している部屋に“突入”し、2分間～3分間後に“全員無事脱出”して訓練は終了しました。

最後に、消防署側との質疑応答が行なわれましたが、参加者の表情には充実感が浮かんでいました。



災害時の減災に向けて、自治会町内会は活動しています！

安全で安心して暮らせる地域を実現するため、積極的に実施している、自治会町内会の防災訓練の様子を紹介します。



地域の訓練に参加しましょう！

地域の防災訓練には、各地域防災拠点の訓練と、自治会町内会が行う防災訓練などがあり、それぞれの役割を生かした内容が行われています。

●防災訓練を始めたいときは…

自治会町内会のみなさんが防災訓練を始めたいときは、防災訓練ガイド（9月に各自治会町内会あてにお送りしています）をご活用ください。区役所総務課や消防署でも相談にのってくれます。



芹が谷台自治会 & 三井団地自治会

残暑厳しい9月初旬、芹が谷連合町内会の芹が谷台自治会（井上徳生会長）と三井団地自治会（小屋俊彦会長）による、合同防災・減災訓練が実施されました。

まずは、いっとき避難場所へ！



午後1時に、芹が谷台自治会の参加者25人が「いっとき避難場所」である「芹が谷1丁目公園」に集合し『お隣近所顔見知りの安否』を確認して、訓練がスタート。

井上会長及び芹が谷消防出張所長により、今回の訓練に関する概要説明があり、その後、地域防災拠点の避難所（本来は小・中学校）の代用として、芹が谷消防出張所に向けて、集団で徒歩移動し、三井団地自治会の参加者25人と合流しました。

出張所では、①横浜市に4台しかない起震車による大地震体験と防災講話、②AEDを使用しての「心肺蘇生法」の実地訓練を、2つの自治会ごと交代で行いました。



大震災を経験して…



起震車では、震度6強から7の猛烈な揺れを体験できます。体験した子ども達は口々に「訓練と分かっているけど怖い…」とちょっぴり青ざめた様子。消防署員の説明で、家具固定の重要性を改めて認識しました。

今回の訓練参加者には、岩手県陸前高田で東日本大震災にみまわれ被災者となり、4か月前に芹が谷自治会に移住してこられた、小笠原ご夫妻がおいででした。

「震度7級の大揺れの最中、避難袋を持って脱出することは全く不可能で、妻と二人、四つん這いでやっとの思いで家を脱出し、すぐ津波から逃れるために、高台に避難しました。日頃から準備していた避難袋をはじめ、何一つ持ち出すことが出来ませんでした。港南区は津波の心配はありませんが、日頃から災害用に保管する物品は、家屋外にもあったほうが良いと痛感しています」という、貴重なお話も聞くことができました。

新地区連合町内会長紹介

今年度、地区連合町内会長になられたお二人です

大久保最戸連合町内会長 林 金吾

初めまして。地区連長としての重責と使命感に緊張しています。今後とも御指導よろしくお願いたします。

大久保最戸地区の人口は約16,300人。そのうち約2,700人が65歳以上で、全体の約17%を占めています。

【ハートのあるまち大久保最戸地区】を合言葉に、目標を醸成できる魅力的な活動になることを目指して、5つの自治会町内会、連合町内会、地区社協とが連携し、住みやすい、住み続けられる地域づくりを推進していきます。

春は観桜会、夏は大岡川クリーンアップ、秋は運動会や防災訓練、冬はもちつきとスケート教室。季節ごとに子どもも大人も一緒になって参加できる催しものが行われているのも、わが地域の長です。



ひぎり連合自治会長 上山 進

ひぎり地区は、戸建て住宅を中心とした約3,000戸の閑静なニュータウンとして、約43年前に造成されました。

その第一次入居者も大半が70歳以上となり、自治会活動や地域活動は40～60歳代の第二次入居者を中心に委ねられるようになりました。

幸いといいますか、高台の山林に造成された当地は地盤が良く、地震や風水害・ガケ崩れなどの自然災害にも強い地域と、再認識されています。

これから第一次入居者の温かい終の棲家（ついのすみか）として、なおかつ、若い世代が希望を育む場所として、どのような「まちづくり」ができるか…。地域自治を担う若い世代の活躍を期待しつつ、ともに頑張りたいと思います。



港南区によろこそ！

インタビュー

神奈川県 港南警察署 大越紳二署長



まずはご挨拶

本年3月の人事異動により、港南署に着任した大越でございます。

自治会町内会の皆様方におかれましては、交通安全・防犯をはじめ、警察行政への多大なる御支援、御協力にお礼申し上げます。

災害時の対応について一言

大地震など災害発生時、警察は被害状況の把握、避難者誘導や物資輸送のための緊急交通路の確保、行方不明者の捜索等を中心に活動します。港南警察署員は約220人いますが、災害発生の時間帯によっては、万全の対応ができるかわかりません。そこで、配備計画の変更や署員の参集訓練等を行いました。

昨年の東日本大震災では、多くの神奈川県警察職員が災害派遣任務に当たりました。

また、過去の災害による諸経験から、大災害の発生時にこそ、まとまった地域の「組織の力」が発揮されるのではないのでしょうか。

例え20人～30人という小規模組織であれ”ばらばらの個人”より遥かに有効な力を発揮して頂ける…と確信しています。

最後に港南区の印象を

港南区は、各地域に多様な組織があり、皆さん地元を大切にされていて、とても活気がありますね。地域の皆さんやボランティアのお力もお借りしながら、港南警察署員一丸となり、事故や犯罪のないまちづくりを目指してまいります。

ひまわりの声では、港南区連合町内会長連絡協議会を「区連会または港南区連会」と記載しています。

編集 後記

■本号は記念すべき第10号です。いつ来るかわからない大地震に備える意味で、大震災特集としました。ぜひ熟読の程お願い申し上げます。

■本紙および区連会へのご意見・ご要望は区連会事務局までお寄せください。

■区連会会報担当
遠藤良一／中島淑子

編集委員
松田英樹／筒井英子
(横浜市港南区港南中央通10-1
港南区役所地域振興課内
☎847-8391 FAX842-8193)